

時間： 午後5時～午後7時30分 (ChST)	欠席者：柳澤
場所： 日本人学校会議室	議長：小和野
出席者：権田、小和野、時任、木村、許、伊藤 (議事録上敬称略) (オンライン参加) 武石、渡辺、井上 (オブザーバー) 福土、小林	記録：小林

定数確認：理事の定数参加により本会議は正式に開催されることが確認された。

議題：

各項目に関する事前説明に対する回答は別途資料を参照。

1. 報告事項

1.1 学校財務 予実採算報告 (キャッシュフロー) (時任)

【資料 1.1 予実管理表 (10月分)】

10月末時点での期末着地見込み及び来期以降の予算に関する説明がされ要旨は以下のとおり。

- 通期見込みではコストがほぼ予算どおりである一方で、収入が予算に比べ約\$24K改善しているが、これらはほぼ寄付収入などの影響によるものである。
 - 本来の学校のあるべき姿を考えるとあくまで授業料収入がメインで、寄付収入はあくまでプラスアルファと位置付けるべきであるが、一方で東京の私立学校などとは異なるグラム日本人学校の特殊な収益構造もあるのも事実。今後も継続して議論を続ける。
- 2025年度予算：日本語会話クラスが現状の39名のうちどれだけ継続するかが不確定要素。また、ホームページ改訂 (以下#1.5参照) によるコスト増が見込まれるが、不確定要素も見込んだうえでなんとか\$30Kの赤字で抑えたい。2025年度予算は1月の理事会で一次案が提出される予定。
- グラム衛生保健局から撤去を命じられていたコンテナを日本人会会員企業より善意価格の\$1,500で撤去する申し出があり、当該支出が承認された。

1.2 中期計画について (時任)

12月20日に予定している教職員オリエンテーションにおいて中期計画の骨子となる今後3年間の教育計画を各部門より発表したうえで、来年1月に保護者および関係者各位に発表する。

1.3 校名変更について（時任）

グアムにおける日本人学校の立ち位置もここ数年で変化しており、それに伴い校名も変更すべき。

> 校名変更については理事会前のメールでの協議により賛成多数で採択され、理事会で追認された。具体的な名前については関係者各位のアイデアも募り、集約した案を1月の理事会で報告・審議予定。

1.4 友だちカード（時任）

来年1月開催予定の「友達ラン」（年初時点で既に予算に織り込み済み）に合わせ、新たな寄付の仕組みである友達カードを実施。

> 友達カードの実施が理事会前のメールでの協議により賛成多数で採択され、理事会で追認された。

1.5 日本人 Web サイト 入札進捗について（時任）

日本人学校のターゲットである父兄に、よりアクセスしやすく、効果的に学校の魅力や必要情報を提供する Web サイトを再構築すべき。

> 理事会前のメールでの協議により賛成多数で採択され、理事会で追認された。4社から見積を取得済み、その中から有力候補である2社に絞り、今後理事メンバーも参加の上で2社と最終面談をし、業者の判定を行う。

2. 討議・承認事項

特に無し

3. 各部報告

3.1 PTA より報告（許）

【資料 3.1 補習授業校 PTA 活動報告】

資料に沿って報告

4. その他

4.1 経営改善のためのアイデア（参加者全員）

前回の理事会の宿題であった、学校経営改善のためのアイデア出しが行われた。今後継続協議しブラッシュアップしていくが、要旨は以下のとおり。

- 日本語クラス、大学進学コース、AP コースなどの提供⇒マーケットの拡大。
- 日本語会話クラス向けに新たに高校コース開設、大学受験英語クラスの提供。
- クラウドファンディングなど寄付収入増の試み。
- 対外的な活動継続。

- 卒業生のネットワークを駆使し、生徒、保護者に有益な情報を提供。
- 通学バス、シャトルの再開。
- 日本人会事務局などの施設の有効活用。
- 教職員の特技を生かしたチャリティなどの試み。

5. 次回の予定

第6回 学校理事会 2025年1月11日(土) 17:00より

中期経営計画、次年度予算など重要な議題があるので、理事会以前にも事前準備を前倒しで行っていく。

以上